

政策シート 政策名 08 美術館の魅力の創出

予算費目名 01 美術館費

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 06 文化・生涯学習

理想の姿 (30年後) ◆創造都市を実現し、音楽の都として世界から注目されている。

政策の柱 (10年後) ◆音楽などの芸術をきっかけとして新たな文化や産業が創出されている。
◆多様な歴史・文化による豊かさやスポーツによる喜びを市民が実感している。

基本政策 01 感動のある生活、歴史・文化・スポーツによる豊かさの創造

(2) 政策の概要(当年度(2023年度)実施内容)

市民の芸術文化活動を促進するため、市民文化の創造拠点を担うとともに、優れた美術作品の鑑賞機会を提供するなど、多様なニーズに応えることができる美術館の事業の充実を図る。

(3) 関連するSDGsのゴール

			④教育					
--	--	--	-----	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	181,025	162,848	130,322	169,078	192,600	
決算	163,895	149,547	123,238	164,112		
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)	75,600	75,600	75,600	59,080	59,360	
年間経費(予算又は決算+A+B)	239,495	225,147	198,838	223,192	251,960	

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
展覧会入場者の満足度(来場者アンケート)	%	目標	70	80	80	80	80	80
		実績	95	94	82	80		
施設の満足度(来場者アンケート)	%	目標	50	60	60	60	60	60
		実績	83	89	78	74		
		目標						
		実績						

4 前年度(2022年度)政策評価

(1) 前年度(2022年度)実施内容

・清掃や空調機器等の保守点検など、施設・設備を適切に維持管理し、安全かつ良好な美術館環境を保つことができた。
・作品燻蒸や修繕、収蔵品管理システム等により、収蔵品を適切に保存・管理することができた。
・企画展3本、市展・収蔵展等の展覧会を企画・開催し、優れた美術作品の鑑賞機会を提供できた。また、地域ゆかりの作家・作品や所蔵品の調査・研究に取り組み、その成果を作品解説や講演会、図録の発刊を通じて市民の知識の涵養、美術・文化の振興に貢献できた。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗>	計画通り
・施設・設備の適切な管理運営により、美術品を適切な環境下で保存・展示するとともに良好な鑑賞環境を保つことができた。また、作品の計画的な燻蒸や安全な移動・修繕等、収蔵品管理システムにより適切な作品管理に努めることができた。 ・版画・工芸・地域ゆかりの作家などをテーマとした展覧会を開催し、初めて美術館に来館される方から美術愛好家まで、幅広い方にご来館いただき、年間の観覧者数はコロナ禍の状況にもかかわらず8万人近くの来館があった。秋野不矩美術館では、指定管理が導入され特別展の平均入場者が2割増加した。 ・来場者アンケートは満足度で80%であった。今後もSNS等を活用し効果的な情報発信に努めていく。	

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	美術館運営事業	○	○		65,749	39,849	3.5			0.5	
2	美術館展覧会開催事業	○	○		91,481	65,581	3.5			0.3	
3	秋野不矩美術館管理運営事業	○	○		87,450	85,070	0.3			0.1	
4	美術館資料購入基金積立金	-			938	238	0.1				
5	美術館デジタル運営経費	-			1,880	1,180	0.1				
6	美術館運営経費(一般諸経費のみ)	-			4,462	682	0.5			0.1	
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計					251,960	192,600	8.0			1.0	

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 01 美術館運営事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

美術館施設・設備を適切に維持管理し、良好な美術館環境を保ち、適切な美術館運営を図る。
美術館資料の収集及び収蔵品の適切な保存管理を行う。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1971	-	一般会計	自治事務(その他)	博物館法

(3) 事業の位置付け

主要事業	<input type="radio"/>	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。					
総合戦略	<input type="radio"/>	(施策)	Ⅲ-2(2)イ				

(4) 関連するSDGsのゴール

	④教育
事業とゴールの関連性	・国内外の優れた作品を鑑賞できる環境づくりや教育普及活動により、美術との出会いの場を広げるとともに美術の知識を深めることができる。

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	35,278	44,217	32,211	33,989	39,849	
	決算	29,609	38,984	31,117	33,030		
	国・県支出		6,781				
	市債						
	その他	6,004	4,264	4,480	9,852	3,522	
	一般財源	23,605	27,939	26,637	28,764	36,327	
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		25,900	25,900	25,900	25,900	25,900	
人工	正規	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	
年間経費(予算又は決算+A+B)		55,509	64,884	57,017	58,930	65,749	

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
空調設備整備工事の実施による温湿度管理		目標	温湿度管理	温湿度管理	温湿度管理	温湿度管理	温湿度管理	温湿度管理
		実績	達成	達成	達成	達成		
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 前年度(2022年度)事業実施内容 (Do)

- 美術館維持管理事業
 - ・施設の清掃、警備、くん蒸、消防・空調設備等の維持管理等
- 美術館資料収集保存事業
 - ・収蔵品の保全・保存を図るための修繕
 - ・収蔵品管理システムの活用
 - ・寄贈作品の調査及び収蔵品としての受け入れ



5 前年度(2022年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

○美術館維持管理事業

機器類の適切な管理運営により、美術品を適切な温湿度管理下で保存・展示することができるとともに、作品の計画的な燻蒸や安全移動など、良好な美術館環境を提供することができた。

○美術館資料収集保存事業

寄贈作品の相談・調査・研究を行い、寄贈作品を9点受け入れた。

収蔵品管理システムの更新に伴い、操作性の向上・遠隔地データの保管・作品公開など時代に対応したクラウド型システムを活用できた。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2022年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・設備機器の管理を行いながら良好な美術館環境を維持管理できた。
- ・寄贈相談のあった作品について調査・研究を行い、多様な寄贈作品を受け入れた。今後も継続していく。

(2) 当年度(2023年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・美術館運営についての考え方による運営を推進していく。
- ・来館者にとって快適な鑑賞や憩いの場となるようサービス向上に努め、市民ニーズに対応した環境整備に取り組む。
- ・良好な美術館環境を維持できるよう適切に施設管理していくとともに、収蔵品管理システムの付加機能を活かし、インターネットによる収蔵品情報の公開など時代に対応した取り組みを行っていく。



7 当年度(2023年度)事業実施内容(Plan)

○美術館維持管理事業

- ・快適な美術鑑賞の場を提供するほか、適切な施設管理に努める。

○美術館資料収集保存事業

- ・収蔵品の保全・保存を図るための修復や額装
- ・絵画、掛け軸の修繕
- ・収蔵資料研究のための解説調査
- ・収蔵品の調査整理のための撮影

事業シート (事業名) 02 美術館展覧会開催事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

市民に優れた美術作品の鑑賞機会を提供し、市民の芸術文化の向上を図るとともに、「創造都市・浜松」の実現に寄与する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1971	—	一般会計	自治事務(その他)	博物館法

(3) 事業の位置付け

主要事業	<input type="radio"/>	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	<input type="radio"/>	(施策)	Ⅲ-2(2)イ						

(4) 関連するSDGsのゴール

		④教育						
事業とゴールの関連性	・国内外の優れた作品を鑑賞できる環境や教育普及活動により、美術との出会いの場を広げるとともに美術の知識を深めることができる。							

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	56,825	65,082	42,027	54,430	65,581	
	決算	48,045	61,204	40,812	50,652		
	国・県支出			1,669			
	市債						
	その他	50,493	19,074	43,421	36,232	55,322	
	一般財源	-2,448	42,130	-4,278	14,234	10,259	
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)	25,900	25,900	25,900	25,340	25,900	
人工	正規	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.5	0.5	0.5	0.3	0.5	
年間経費(予算又は決算+A+B)		73,945	87,104	66,712	75,992	91,481	

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
			(R1)	(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
展覧会観覧者数(人)		目標	83,000	85,000	85,000	85,000	85,000	85,000
		実績	174,622	65,081	82,620	78,159		
市展応募作品数(点)		目標	350	350	350	350	350	350
		実績	273	315	285	304		
所蔵品展観覧者数(人)		目標	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
		実績	1,590	1,825	1,254	2,227		
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 前年度(2022年度)事業実施内容 (Do)

- 平常展開催事業
 - ・市展(2023.2.14～3.15)
- 企画展開催事業
 - ・遠藤美香展(2022.4.22～6.19)・ハイジ展(2022.7.9～9.11)・名刀 泰平を切り開く(2022.10.15～12.4)
- 特別展開催事業
 - なし
- 教育普及事業
 - ・ギャラリートーク、ワークショップ、講演会 など ・教員向け研修、博物館実習
 - ・出前講座 ・子どもの市展 ・展覧会図録の刊行 ・美術館年報の作成



5 前年度(2022年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

- ・「遠藤美香展」は、浜松で生まれ活動する版画作家展で、8,908人が来館した。
- ・夏の「ハイジ展」は、コロナ禍で混雑混乱はないものの16,287人の来館者にとどまった。
- ・「名刀展」は重要文化財などのほか、江戸の文物や、青磁の展示が好評を得て20,000人超が来館した。
- ・新型コロナウイルスの影響が続き、目標値を下回るとともに昨年度より来館者が減少した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

コロナウイルス感染症による外出自粛。



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2022年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・チラシ・ポスター等の配布個所など、展覧会の周知方法を見直した。
- ・紙媒体だけでなく、SNS等による情報発信を積極的に行った。

(2) 当年度(2023年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・観覧料、物販収入において現金以外にもカード等キャッシュレス決済を導入する。
- ・事業の周知方法について、デジタル広報にも重点を置くとともに、時宜に即した情報の提供をしていく。



7 当年度(2023年度)事業実施内容(Plan)

- 平常展開催事業
 - ・浜松ゆかりの作品展(2023.4.22～6.11、2023.10.14～12.3) ・市展(2024.2.10～3.14)
- 企画展開催事業
 - ・続みほとけ展(2023.10.14～12.3)
- 企画展開催事業
 - ・葛飾北斎展(2023.4.22～6.11) ・山本二三展(2023.7.8～9.10)

(管理番号)									
2023年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	06	01	08	01	000633000	03	美術館	飯室 仁志	2023.7.1

事業シート (事業名) 03 秋野不矩美術館管理運営事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

秋野不矩美術館の管理運営に指定管理者制度を導入する。秋野不矩美術館の維持管理を行い、所蔵品展及び特別展を開催する。文化勲章受章者である日本画家秋野不矩の業績と秋野不矩を取り巻く日本画家の作品を紹介。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2022	—	一般会計	自治事務(その他)	博物館法、地方自治法

(3) 事業の位置付け

主要事業	<input type="radio"/>	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	<input type="radio"/>	(施策)	Ⅲ-2(2)イ						

(4) 関連するSDGsのゴール

			④教育						
事業とゴールの関連性	安全で快適な観覧環境の整備に努め、良質な展覧会を企画・運営し市民への教育普及に努める。								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	86,613	51,259	51,194	77,774	85,070	
	決算	84,100	47,299	46,492	77,736		
	国・県支出			4,195			
	市債						
	その他	5,034	6,476	11,647	16,109	24,579	
	一般財源	79,066	40,823	30,650	61,627	60,491	
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)	23,800	23,800	23,800	2,380	2,380	
人工	正規	3.0	3.0	3.0	0.3	0.3	
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	1.0	1.0	1.0	0.1	0.1	
年間経費(予算又は決算+A+B)		107,900	71,099	70,292	80,116	87,450	

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
所蔵品展観覧者数(人)		目標	7,000	7,000	10,000	10,000	10,000	10,000
		実績	6,886	7,520	12,968	7,181		
特別展観覧者数(人)		目標	6,000	12,000	12,000	20,000	20,000	20,000
		実績	5,358	6,960	7,660	13,937		
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 前年度(2022年度)事業実施内容 (Do)

本年度から指定管理者施設制度導入する施設である。

○所蔵品展開催事業

本館所蔵作品を中心に秋野不矩の業績を広く紹介する所蔵品展を年5回開催する。

○特別展開催事業

秋野不矩を取り巻く日本画家の作品を紹介し、現代日本画壇における秋野芸術の理解を深めるため特別展を年3回開催する。

市展管理者の業務運営を指導する。



5 前年度(2022年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

- ・所蔵品展を117日間開催し、7554人の来館者に秋野不矩の作品、業績を広く紹介した。
- ・特別展は「インドに魅せられた2人展」「源氏物語 五十四帖展」「中村正義展」の3回実施し、120日間の開催期間で13,937人の来館者に、秋野不矩を取り巻く作家たちの作品を紹介することで、秋野不矩作品に対する理解を深めることができた。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

- ・新型コロナウィルスの影響を考慮した美術館運営を進めていく。



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2022年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

2022年度から指定管理者施設制度導入した。

- ・特別展「インドに魅せられた2人展」では、秋野不矩と同じインドをテーマとした秀逸な作品を広く市民の方々に紹介ができた。「源氏物語 五十四帖展」「中村正義展」では秋野不矩の画業とのかかわりを示しつつ、他の作家の紹介をした。

(2) 当年度(2023年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

2022年度から指定管理者施設制度導入した。

- ・指定管理者のネットワークを活かし、各種媒体を活用した広報活動を展開していく。
- ・専門職員(学芸員)による調査研究の成果を活かした企画等を工夫することにより、誘客に努めていく。
- ・浜松ゆかりの美術文化等に触れる機会を充実していく。



7 当年度(2023年度)事業実施内容(Plan)

- ・指定管理者のネットワークを活かし、各種媒体を活用した広報活動を展開していく。
- ・専門職員(学芸員)による調査研究の成果を活かした企画として特別展を実施していく。
- ・浜松ゆかりの美術文化等に触れる機会を充実していく。

事業シート (事業名) 04 美術館資料購入基金積立金

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

基金の利息や寄附金を美術館資料購入基金へ積み立てる。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1974	—	一般会計	自治事務(その他)	浜松市美術館資料購入基金に関する条例

(3) 事業の位置付け

主要事業		※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							

(4) 関連するSDGsのゴール

			④教育						
事業とゴールの 関連性	・誰もが国内外の優れた作品を鑑賞できる環境や教育普及活動により、美術への出会いの場を広げるとともに美術の知識を深めることができる。								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	1,345	1,392	2,111	926	238	
	決算	1,345	1,392	2,111	826		
	国・県支出						
	市債						
	その他	1,345	1,392	2,111	826		
	一般財源 一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)					700	700	
人工	正規				0.1	0.1	
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		1,345	1,392	2,111	1,526	938	

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
篤志家等からの寄附金積立(件数)		目標	1	1	1	1	1	1
		実績	0	0	0	0		
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 前年度(2022年度)事業実施内容 (Do)

- ・篤志家等からの寄附金を美術館資料購入基金へ積み立てる。
- ・美術館資料購入基金の運用利息を基金へ積み立てる。



5 前年度(2022年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度
 美術館資料購入基金への寄附者なし。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2022年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工
 ・運用利息の積み立てを行った。

(2) 当年度(2023年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工
 ・運用利息の積み立てを行う。



7 当年度(2023年度)事業実施内容(Plan)

- ・篤志家等からの寄附金を美術館資料購入基金へ積み立てる。
- ・美術館資料購入基金の運用利息を基金へ積み立てる。
- ・引き続き寄附金の案内をホームページで行う。

事業シート (事業名) 05 美術館デジタル運営経費

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

クラウド型収蔵品管理システムを導入したことにより、収蔵品の効率的な管理や収蔵品データの公開など収蔵品情報の汎用性を高め市民サービスに繋げる。

感染症対策として館内の混雑状況を回避するために、自動で混雑状況を把握・案内し入場制限を行う。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2021	—			

(3) 事業の位置付け

主要事業		※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性									
----------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算			1,833	1,204	1,180	
	決算			1,823	1,178		
	国・県支出			800	402		
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金			1,023	776	1,180	
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)					980	700	
人工	正規				0.1	0.1	
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)				0.1		
年間経費(予算又は決算+A+B)				1,823	2,158	1,880	

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
ピープルカウンター設置により混雑状況を把握し、状況に応じて入館制限。		目標			設置	入館者数把握	入館者数把握	入館者数把握
		実績			設置			
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)

2023年度

分野 基本政策 政策 予算費目 所属コード 事業 (担当課) (責任者) (基準日)
06 01 08 01 000633000 05 美術館 飯室 仁志 2023.7.1

4 前年度(2022年度)事業実施内容 (Do)

ピープルカウンターを設置し、入館者の混雑状況の把握に努める。



5 前年度(2022年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

ピープルカウンターを設置し館内滞在者の状況把握を可能になったので、日によっては入館制限を実施した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

新型コロナの分類変更をうけて、混雑状況、入館制限の基準を見直す。



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2022年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

(2) 当年度(2023年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工



7 当年度(2023年度)事業実施内容(Plan)

・ピープルカウンターの本格導入に向けてLANケーブル配線工事等の環境を整える。

事業シート (事業名) 06 美術館運営経費(一般諸経費のみ)

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

美術館の一般事務に要する経費

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等

(3) 事業の位置付け

主要事業		※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性									
----------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	964	898	946	755	682	
	決算	796	668	883	690		
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	796	668	883	690	682	
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)					3,780	3,780	
人工	正規				0.5	0.5	
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)				0.1	0.1	
年間経費(予算又は決算+A+B)		796	668	883	4,470	4,462	

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 前年度(2022年度)事業実施内容 (Do)



5 前年度(2022年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題
指標の達成度

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2022年度)見直し内容(実施結果の振り返り)
大項目 小項目 / 事業費 人工

(2) 当年度(2023年度)以降見直し内容(今後の方向性)
大項目 小項目 / 事業費 人工



7 当年度(2023年度)事業実施内容(Plan)